

## 令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

### 1 概 況

総務省が発表した令和元年10月1日現在国内（確定値）の人口は1億2616万7千人で、前年同月に比べ27万6千人減少しています。一方で、65歳以上の高齢者人口は3588万5千人と前年より30万7千人増加しており、人口減少と高齢化が進展しております。

このような中で、高齢者の就業意欲は高まる傾向にあり、多様化する就業ニーズを把握し、「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと請負による就業だけでなく派遣事業にも積極的に取り組み、地域の高齢者に対して就業機会を提供し、高齢者の活躍の場の創出を推進してまいりました。

会員の拡大では、1人1会員入会促進運動を展開するとともに、毎月2回の説明会を開催し新規会員の確保に努めました。就業機会の拡大では、就業開拓員による新規発注者の開拓や役員による企業訪問を行い、就業機会の拡大を図りました。特に、シルバー派遣事業による就業は順調に推移し、契約金額は前年比136.5%、就業延人員は142.5%となりました。

安全就業においては、「安全は、全てに優先する」を合言葉に安全意識の徹底を図り、新入会員安全研修会、植木・草刈就業会員研修会、一般就業会員安全研修会を開催し安全文化の構築に取り組みました。

令和元年度の事業実績は、次のとおりです。 ※（ ）内は前年比

会 員 数	1, 1 2 8 人 (22 人)
受注件数	3, 6 7 4 件 (△145 件) [請負：3, 6 1 6 件 (△171 件)、派遣：5 8 件 (26 件) ]
就業延人員	1 0 9, 7 5 8 人 (1,212 人) [請負：9 1, 4 4 3 人 (△4,254 人)、派遣：1 8, 3 1 5 (5,466 人) ]
就 業 率	8 2. 4 % (△1.6%) [請負：6 9. 1 % (△5.4%)、派遣：1 6. 0 % (4.1%) ]
契約金額	5 3 0, 8 9 1, 7 2 3 円 (3 1, 6 0 8, 0 6 5 円) [請負：4 1 5, 6 8 6, 8 9 2 円 (784,366 円)、 派遣：1 1 5, 2 0 4, 8 3 1 円 (30,823,699 円) ]

## 2 事業の実施報告

### (1) 会員の確保・拡大

会員の口コミによる勧誘やパンフレットの全戸配布を行うなど、中長期事業推進計画の目標を達成するため、積極的な会員拡大に取り組みました。

- ①一人一会員促進運動を組織的に展開し、入会者の勧誘に取り組みました。(入会者 13 名)
- ②フレイルサポーターによる市民を対象とした「フレイル体力測定会」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。
- ③情報紙「よこび」の新聞折り込みやパンフレットの全戸配布を行い、センター事業を広く市民に周知しました。
- ④毎月 2 回の入会説明会と女性限定の説明会を 4 回開催し、会員の拡大に努めました。  
(参加者 279 名、入会者 184 名、入会率 65.9%)
- ⑤夫婦会員優遇制度を推進し会員の拡大を図り、夫婦会員が 54 組 108 人となりました。

### (2) 就業機会の拡大

就業開拓員により積極的な就業機会の拡大を図るとともに、会員の就業ニーズに合わせた就業提供に取り組みました。

- ①就業開拓員による営業活動を実施し、就業機会の拡大に努めました。  
(訪問述べ 1,441 件、新規企業就業契約 23 件)
- ②会員の就業ニーズに合わせ、就業開拓員による就業紹介に取り組みました。
- ③毎月 2 回、就業相談日を設け、未就業会員の解消に努めました。(相談会員 23 名)
- ④役員が会員就業先企業へ訪問し、発注者との情報交換による就業拡大に努めました。  
(訪問企業 60 社)
- ⑤発注者アンケート調査を実施した結果、センター全体について概ね満足との評価をいただきました。

### (3) 安全・適正就業の徹底

安心・安全なセンター事業を推進するため、安全就業研修を実施し安全就業の徹底を図るとともに、適正就業ガイドラインの配布説明によって会員や発注者に適正就業についての理解を求めました。

- ①健康管理対策として、健康診断の受診を奨励し、自主的な健康管理を推奨いたしました。
- ②安全適正就業委員による就業現場の巡回指導を毎月実施し、安全就業の徹底を図りました。  
(実施回数 47 回、72 件)
- ③自転車事故防止のため久喜警察と幸手警察にご協力いただき、「正しい自転車の乗り方」講習会を実施しました。

(実施回数 4 回、参加者 74 名)

③植木剪定や草刈り作業に従事する会員を対象とした、安全講習を実施しました。

(実施回数 2 回、参加者 69 名)

④新入会員を対象とした、安全就業研修を実施しました。

(実施回数 2 回、参加者 60 名)

⑤就業会員全員を対象に、就業中の事故防止や交通事故防止のための鷺宮・菖蒲・栗橋地区の 3 地区で安全研修を実施しました。(実施回数 3 回、参加者 142 名)

⑥法令を遵守した適正就業を推進するため、発注者との協議を行いました。

#### (4) 組織運営の強化

「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員・役職員が一体となり組織的な事業運営に取り組むとともに、円滑な事業運営を推進するため事務体制の見直しにも取り組みました。

①理事会を毎月開催し、就業拡大や会員増強などシルバー事業を効果的に運営するための協議を行いました。

②役員による先進地センターの視察研修を実施し、センター事業の研鑽に努めました。

③地区懇談会を開催し、意見交換を行い会員との意思疎通を図りました。

(実施回数 5 回、参加者 213 名)

④地域班長会議を開催し、地域班活動の問題点について協議を行いました。

⑤会員ポイント制度を推奨し、新規会員の勧誘、各種研修会やボランティア活動への参加など、センター事業への積極的な参画を促しました。